

4 月 28 日：VN 指数は下落し慎重な推移 (VN-Index -0.20%)

- 本日の VN 指数は小幅高で寄り付いたものの、すぐに下落に転じた。慎重な投資家心理の中で薄商いとなった。
- 米国による関税に関する続報が待たれる中で不安感が広まり、寄り付き直後の展開が引き続いた。
- 本日は大引けまで動揺の展開となった。投資家による新規資金の流入は今後数日間も落ち着くと予想される。
- セクターでは、資本財・サービスが最も大きな上昇を記録した。一方で情報技術、不動産セクターがマーケットを下押しした。
- 235 銘柄が上昇、262 銘柄が下落、79 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 29.7%減の 14.1 兆ドンとなった。

VN30 指数も同様の動き (VN-30 -0.37%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 15 銘柄が上昇、13 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずとなった。
- SAB (+3.43%)、SSB (+2.76%)、LPB (+1.55%)が下支えした。
- VHM (-6.10%)、FPT (-2.58%)、VJC (-2.09%)は 2%超の下落となった。

セクター・個別株の動き

- VPB(+0.30%)は午後、2025 年年次総会を開催し、今年中に銀行の資産を 25% 拡大し、顧客からの預金総額を 100 兆ドン以上増加させるという全体目標を設定した。
- DXG (-2.01%) は、マクロ経済の見通しが不透明な中、2025 年の連結売上高目標を前年比 62%増の 7 兆ドン、純利益目標を同 44%増の 3680 億ドンとする年次総会資料を発表した。
- 外国人投資家は MBB (+0.64%)を中心に 22 億ドンを買い越した。一方、VHM (-6.10%)、FPT (-2.58%)が最も売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。